

とよた 市議会 だより

9月市議会定例会
秋号
平成18年10月15日

ファイルNo.
79

駐車マナーの改善と利用者の利便向上を図ります。
自転車等放置防止条例の一部改正

さらなる医療体制の充実を図ります。
工事請負契約の締結(豊田地域医療センター増築工事)

ピックアップ
TOPICS
トピックス

駅前通り南地区
市街地再開発ビル
(コモ・スクエア)



中心市街地再開発 中心市街地の賑わいづくりや活性化を図るために、豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業が進められています。企業の事務所やホテル、スポーツ施設が入る西棟は平成18年10月末、居住施設が入る東棟は平成20年3月に完成予定です。

- 平成18年度から決算の
審査方法が変わりました。…………… ② ▶ ③
- 議案説明・討論
条例の一部改正や工事請負契約の締結など…………… ④
- 採決一覧 議案審議結果…………… ⑤

- 常任委員会 付託案件・意見書・陳情を審査 ⑥ ▶ ⑦
- 市政について問う!**
- 一般質問 21人の議員が質問…………… ⑧ ▶ ⑩
- 情報あれこれ
議員研修会、市民野外劇、交通安全啓発活動…………… ⑫



平成18年度から、 決算の審査方法が変わりました。

はじめに

決算審査は、予算が議会の議決や法令の規定に従って公正・適正、効果的に使われたかどうか、市民の福祉増進に役立ったかどうかを審査するものです。審査の結果を次年度の予算に活かすため、毎年9月定例会会期中に特別委員会を設置し、詳細な審査を行っています。

《これまでの審査方法》

一定の委員(平成17年度は12名)により構成された決算特別委員会で審査
審査期間は4日間(うち1日は現地確認)

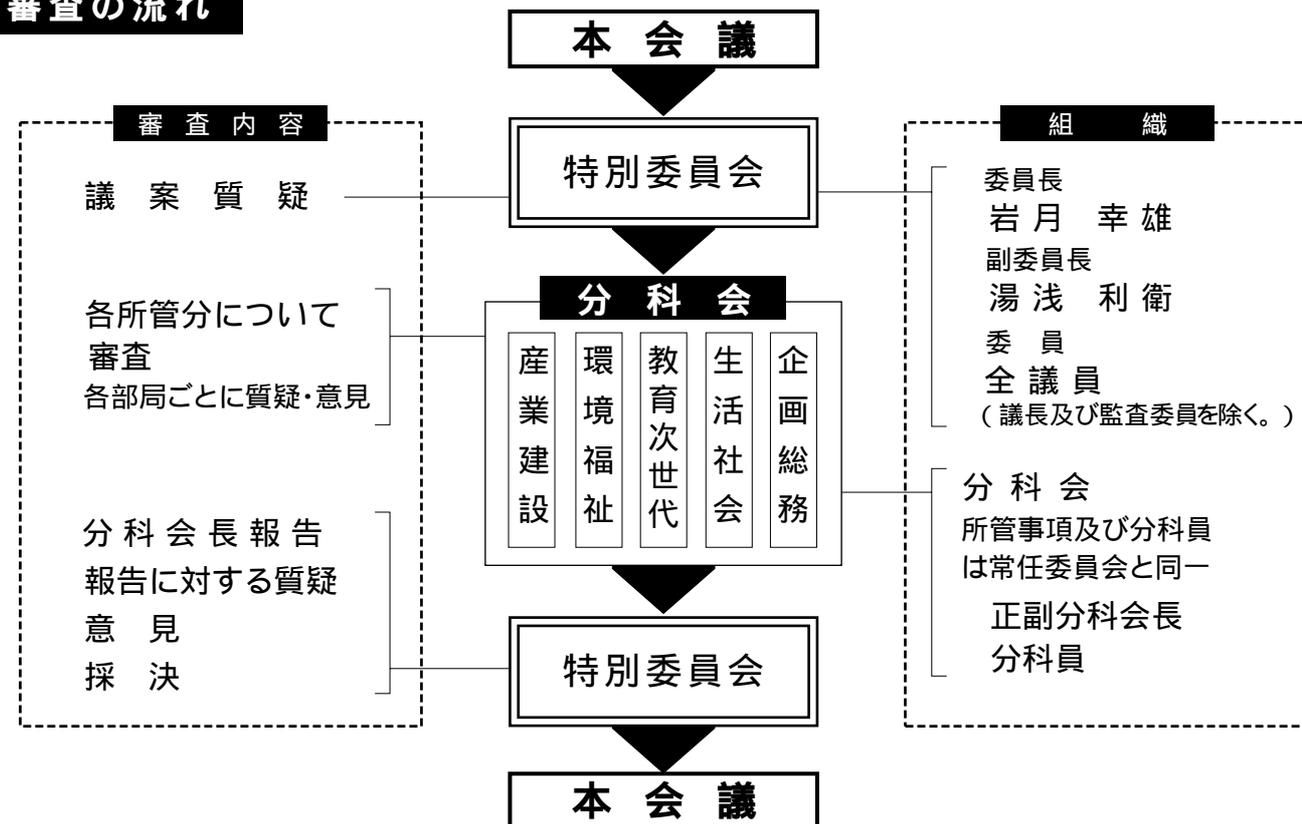


変更の背景と目的

豊田市議会は、平成18年5月に議会権能向上特別委員会を設置し、議会の権能向上を目指すため、主に予算・決算の審査方法の見直しについて検討を重ねてきました。その結果、これまで以上に審査時間(委員会2日間、各分科会5日間、計7日間)を確保し、全議員が審査に参加できるように審査方法を変更することとしました。

《新しい審査方法》

審査の流れ





決算特別委員会の質疑応答

決算審査方法の変更により、充実した質疑応答が行われました。今回は、その中の主な内容についてご紹介いたします。

一般会計決算 総務費(事務管理費)

質問 東京事務所と情報収集

東京事務所を開設してどのような成果が出ているのか。また、市の情報収集に対する基本的な考え方は。

答弁 情報発信・収集、中央省庁との協議など業務支援を中心に活動し、大きな成果を挙げた。今年10月の「豊田ナンバー」の誕生には、ご当地ナンバーとして豊田市が採択された際の業務支援を行った。真に必要な情報は、直接訪問した上での入手が重要であり、日常の情報交換の必要性は増している。

一般会計決算 民生費(高齢者福祉施設費)

質問 介護保険施設の建設状況

介護保険制度の充実を図るための施設建設の進捗状況と事業評価はどのようなか。

答弁 介護保険施設の整備は計画どおりに進んでいて、平成17年度末時点の整備済数は、特別養護老人ホームが700名分、老人保健施設が594名分であった。また、平成17年度には、高岡地区において特別養護老人ホーム1か所、80名分の建設に着手している。

一般会計決算 教育費(教育指導費等)

質問 愛・地球博関連事業の実績と評価

教育委員会が実施した愛・地球博の関連事業の実績と効果、またその評価はどのようなであったか。

答弁 市内の小中学校65校で実施した花のあるまちづくり事業を始め18事業を実施し、執行総額は約3億2,600万円であった。市民参加型の取組や近隣都市との交流促進、国際文化交流への寄与など大きな成果があったが、全体を通してPR方法の工夫が必要であった。

一般会計決算 国庫支出金(土木費国庫補助金)

質問 まちづくり交付金対象事業の進捗状況

地域再生を効率的に推進するための国庫補助制度「まちづくり交付金」の、本市の進捗状況は。

答弁 本市では「まちづくり交付金事業」として豊田市駅周辺地区、豊田浄水地区、市木地区の3地区が採択を受けており、補助率は40%。駅周辺地区では、都市計画道路 豊田則定線など25事業、総事業費約46億円で、平成17年度末の事業費は約6億9千万円、進捗率は約15.1%であった。

簡易水道事業 特別会計決算

質問 水道事業会計の一本化

豊田市簡易水道事業会計を、豊田市水道事業会計と一本化することはできないか。

答弁 企業会計は水道料金の収益で成り立っている。中山間地にある小規模な簡易水道事業は採算が見込めず、上水道と簡易水道を一本化すると水道料金を値上げせざるを得なくなる。そのため今後も簡易水道事業については、一般会計からの繰り入れを行いながら、事業を推進していく。

承認案件

左記の審査方法により、平成17年度決算状況の審査を行いました。15件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、審査の結果、一部案件()を除き、全会一致で妥当と認めました。

第6号 平成17年度一般会計決算

7	国民健康保険特別会計決算
8	食肉センター特別会計決算
9	都市計画事業土地区画整理特別会計決算
10	分譲住宅建設事業特別会計決算
11	公共下水道事業特別会計決算
12	卸売市場特別会計決算
13	老人保健特別会計決算
14	農業集落排水事業特別会計決算
15	水道水源保全事業特別会計決算
16	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算
17	介護保険事業特別会計決算
18	財産区特別会計決算
19	簡易水道事業特別会計決算
20	水道事業会計決算

第6・7・17号における会派別賛否は次のとおり。
[賛成] 自民クラブ、市民フォーラム、公明党、新政クラブ
[反対] 諸派



自転車等放置防止条例の一部改正や、工事請負契約の締結

9月市議会定例会を1日から22日まで、22日間の会期で開きました。議案55件(条例13件、補正予算3件、契約9件、財産取得7件、承認17件、同意2件、議員提出意見書1件、その他3件)と報告1件が会議に付され、議案審議結果(3ページと5ページ)のとおり決まりました。その中から主な議案について紹介します。

	案 件 名	内 容
条例の一部改正	【第112号】 豊田市自転車等放置防止条例の一部改正条例	自転車等の駐車マナーを改善して快適に利用できるよう、駅前を中心に市営駐輪場を設置します。また、平成18年12月1日から共用開始する豊田市駅東駐輪場の使用料の設定を行います。
	【第113号】 豊田市立保育所条例の一部改正条例	平成19年4月1日から市立古瀬間保育園と市立志賀保育園を統合し、新たに市立益富保育園を設置します。また、市立丸山保育園を民間に移管し、市立新盛保育園の廃止を行います。
	【第118号】 豊田市国民健康保険条例の一部改正条例	健康保険法と同法施行令の一部改正に準じて、平成18年10月1日から出産育児一時金の支給額を30万円から35万円に引き上げ、葬祭費の支給額を8万円から5万円に引き下げます。
工事請負契約	【第125号】 豊田地域医療センター増築工事	市民の健康維持と医療体制の充実を図るため、豊田地域医療センターを増築します。鉄骨2階建てで、1階に診察室や事務室、2階に病室や浴室などを配置します。契約金額は約4億3,040万円、完成予定は平成19年7月です。
	【第126号】 豊田市営市木町住宅建設工事	住環境を整備するため、市木町地内に市営住宅を建設します。鉄筋コンクリート造5階建て(2DK:15戸、3DK:35戸)で、契約金額は4億5,570万円、完成予定は平成19年10月です。
財産の取得	【第133号】 豊田地域医療センター胸部X線デジタル検診車	市民の健康維持と医療体制の充実を図るため、X線発生装置とデジタル処理装置を搭載した検診車を1台、購入します。取得価格は約6,450万円、供給予定は平成19年3月です。

討 論

発言順に記載

諸 派 大 村 義 則

議案110号及び113号の条例の一部改正は、他市の裁判事例を踏まえた上で、幼稚園・保育園の民営化による保護者の多様なニーズへの対応という主張は、早急な政策推進を正当化する根拠としては不十分のため反対。議案118号の条例の一部改正は、葬祭という暮らしに関わる大事な事項に対する給付を引き下げるものであるため反対。

自民クラブ 清 水 俊 雅

議案112号の条例の一部改正は、放置自転車対策としての駐輪場設置には、

用地費の他、景観対策や防犯対策に配慮した整備が必要。有料化による整備は、都市や市民全体の利益になると考え賛成。議案113号は保育、幼児教育の重要性が増す中で、新たな保育ニーズに対応するためのものであり、関係保育園の統合、民間移管及び廃止はその対応に伴うものであり賛成。

新政クラブ 外 山 雅 崇

議案117号の条例の一部改正は、3か月児健診などの重要業務が行われている藤岡保健センターに指定管理者制度を導入するもの。今後も市民福祉の増進にふさわしいサービスを提供、維持することを強く求め賛成。議案125

号の地域医療センター増築工事は、今回の医療制度改革に伴う病床確保が緊急の課題であるため、早急に具体的な将来計画の立案を求め賛成。

市民フォーラム 中 村 晋

議案110号の条例の一部改正は、本市がすでに民間移管計画により順次民営化を進めている中で、サービスの質と効率的な運営を検証しながら計画を進めていると判断し賛成。議案118号の条例の一部改正は、これまでの葬祭費支給を評価するが、限られた財源の中では時代の要請に応じた変更もやむを得ず、子育て環境の改善を後押しする意味で賛成。



議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています

9月市議会定例会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否									
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第108号 職員定数条例等の一部改正条例	原案可決	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
109 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
110 学校設置条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	0	1
111 体育施設条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
112 自転車等放置防止条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
113 保育所条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	0	1
114 心身障害者扶助料支給条例及び在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
115 身体障害者通所授産施設条例及び障害者総合支援センター条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	0	1
116 こども発達センター条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	0	1
117 保健センター条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
118 国民健康保険条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	0	1
119 商業振興条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
120 都市公園条例の一部改正条例	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
121 平成18年度一般会計補正予算	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
122 " 介護保険事業特別会計補正予算	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
123 " 簡易水道事業特別会計補正予算	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
124 工事請負契約の締結(保見出張所及び生涯学習センター-保見交流館移転新築工事)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
125 " (地域医療センター増築工事)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
126 " (市営市木町住宅建設工事[第1期工事・A棟])	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
127 " (市道浄水駅歩行者道線地下通路築造工事[第2期工事])	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
128 " (市道富田国附2号線〔仮称〕新富国橋橋梁新設工事〔橋梁上下部工〕)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
129 " (市道四郷西山線西山橋橋梁改良工事〔上部製作架設工〕)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
130 " (市道荒井高橋線平成記念橋橋梁耐震補強工事〔第2期工事〕)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
131 " (市立足助中学校校舎耐震補強工事)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
132 " (猿投公園陸上競技場トラック等改修工事)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
133 財産の取得(地域医療センター胸部X線デジタル検診車)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
134 " (地域医療センターX線デジタルテレビ装置)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
135 " (水槽付き消防ポンプ自動車)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
136 " (小型動力ポンプ付き積載車)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
137 " (高規格救急自動車)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
138 " ([仮称] 豊田市総合体育館移動観覧席)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
139 " ([仮称] 豊田市総合体育館競技用備品)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
140 都市公園予定区域の決定([仮称] 柿本公園及び鞍ヶ池緑地)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
141 市道の認定(8路線 / 1,894.4m)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
142 市道の廃止(1路線 / 90m)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
承認 (第6号 ~ 第20号の平成17年度決算関係分は3ページ参照)											
第21号 専決処分の承認(平成18年度公共下水道事業特別会計補正予算)	承認	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
22 " (平成18年度水道事業会計補正予算)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
同意											
第5号 教育委員会委員の選任(再任: 吉田万佐敏氏)	同意	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
6 固定資産評価審査委員会委員の選任(新任: 梅村正吾氏、河木照雄氏、河島 勝氏)	"	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0
報告											
第7号 専決処分の報告(損害賠償5件、和解1件)											
陳情 (7ページ参照)											
第9号 教育基本法の改正ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情書											
10 第8次定数改善計画の実施と学級規模縮小を求める陳情書											
11 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書											
12 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書											
13 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書											
議員提出意見書 (7ページ参照)											
第2号 道路整備のための財源確保に関する意見書	原案可決	28	0	10	0	3	0	3	0	1	0



9月6日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました。

委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。 **開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。**

産業建設委員会

9月12日、付託議案11件を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第119号】豊田市商業振興条例の一部を改正する条例

質問 国の法律改正に伴って行われる豊田市商業振興条例の改正について、本市にどのような影響があるか。

答弁 全国ではTMOがうまく機能していない事例が多い中、本市では中心市街地活性化の中核的役割を担っているため、市の商業振興条例により今後も本市独自の支援を行っていく。また、国の制度は新しくなるが、その制度の中でも「特定民間中心市街地活性化事業者」として、国からの支援を受けることができる。

【第127号】工事請負契約の締結について

質問 市道浄水駅歩行者道線地下通路築造工事 第2期工事について、地下道から地上、駅との接合部分についての、エレベーターやエスカレーターの設置はどのようになっているのか。

答弁 病院側、駅側それぞれの地上部分に対し、エレベーター、エスカレーター、階段を設置する。駅との接合部分のバリアフリー化については、鉄道事業者と協議中である。

【第128・130号】工事請負契約の締結について

質問 入札価格が予定価格に対してかなり低いが、業者にしわ寄せがいかないか。

答弁 豊田市に限らず、国が行うほとんどの工事でも低入札と聞いている。調査をした結果、資材を安く仕

入れる、儲け部分を削減するなど工夫しているようである。下請負事業者の人件費が確保されているかについても口頭により確認をしているが、適正と捉えている。今後は事業者が下請承認申請を提出する際に、今まで以上に厳密な確認をしていきたい。



環境福祉委員会

9月13日、付託議案9件を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第117号】豊田市保健センター条例の一部を改正する条例

質問 藤岡保健センターは今回、指定管理者制度を導入するが、6か所ある保健センターの管理体制はどうなっているのか。

答弁 保健センターは、旧市内には市役所東庁舎の3階にある。旧合併町村は足助を除く5地区にあり、下山はまだいの丘の中にあるが、平成18年度に指定管理者制度を導入済みである。旭、稲武については、支所の敷地内にあることから、支所職員により管理ができる。また、小原については交流館と一体になっていて、交流館の市職員が管理している。支所職員によって効率的な管理ができる施設は、しばらく直営で管理していく。

【第133・134号】財産の取得について

質問 豊田地域医療センターの胸部X線デジタル検診車及びX線デジタルテレビ装置取得について、更新前の機器とメーカーが異なるが、操作する者にとってはメーカーが同じ方が、細かい使い勝手も良いと思われる。その

点は考慮して選定したのか。また、今回購入する機器は、機能的に更新前の機器と比べ、どんな違いがあるのか。

答弁 今までと同じメーカーの方が使い勝手は良いが、今回のX線本体は、大勢を連続して診ることができる、保守点検費用が安い、小型・省スペース化が図られている等の、総合的な理由から選定した。今回更新する機器は、従来のフィルム撮影からデジタル撮影に変わり、後の情報処理も大きく改善できると考えている。

教育次世代委員会

9月14日、付託議案8件を審査し、すべて全会一致で承認しました。他に陳情5件を報告しました。

【第110号】豊田市立学校設置条例の一部を改正する条例

質問 民間移管の検証において、市民サービスへの影響は、また、平成20年度までの民間移管計画の後、どのような計画になっているのか。

答弁 指導訪問の結果は特に問題なく、移管条件である公立の保育を引き継いだ経営に努めている。ニーズに対応して3歳からの3年保育が実施され、移管後は3歳児の就園数が増加している。延長保育・休日保育などが実現した結果、保護者の費用負担が一部増えているが、サービスの向上と安定的な園運営には、ある程度必要と考えている。今後の計画は、社会情勢の変化や今までの結果を踏まえ、さらに第三者評価結果を含めた多面的な検証を行った上で、市民理解を得て計画策定していきたい。





委員会

【第121号】平成18年度豊田市
一般会計補正予算

質問

今後、学校の耐震補強を行う上で、足助地区など地盤が硬い地域でも一律に同じ工事を行っていくのか。

答弁

足助中学校をはじめ、旧町村部の耐震補強は旧豊田市内と同様に進めている。合併によって地震防災対策強化地域に編入された上、文部科学省からも全国一律で耐震補強するようにという強い働きかけがあり、区別することなく進めていく。

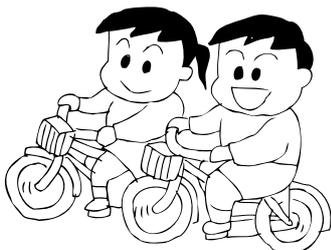
生活 社会 委員会

9月15日、付託議案8件を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第112号】豊田市自転車等放置防止
条例の一部を改正する条例

質問

駐輪場の有料化や、有料化した場合の利用料金を駐輪場整備に充てる考えはあるか。また、放置されている自転車や原付バイクの対応はどのようなか。



答弁

放置禁止区域の中や近隣に競合する有料駐輪場がある場合は、有料化を検討する。また、利用料金は駐輪場の管理運営費に充当する。放置された自転車やバイクについては、

禁止区域内であれば即日撤去している。それ以外の公共の場所や駐輪場では注意を促す札を貼り、7日経過した場合に撤去を行う。

【第121号】平成18年度豊田市
一般会計補正予算

質問

香嵐溪の「待月橋」の架け替えに際し、地元説明は十分になされたか。また、橋のデザインについてはどのような意見があったのか。

答弁

自治区長や観光協会などの関係団体、地域会議に主旨を説明し、理解を得ている。デザインについては、地元からは現在のイメージに近いものが良いとの意見があった。景観アドバイザーからは、シンプルなものが良いとの意見があった。

企画 総務 委員会

9月19日、付託議案3件を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第109号】豊田市報酬及び費用
弁償に関する条例の
一部を改正する条例

質問

今後、少子化が進むと労働力不足が懸念されるため、労働力の確保策が必要である。勤労者生活相談員制度が勤労者確保の一翼を担ってきたが、この制度をやめた場合に、労働力不足に対する方策をどのように考えているか。

答弁

少子化により人集めは重要であるが、非常に難しい問題であると認識している。雇用対策協会、ハローワークとも協同して、検討を進める。特に団塊の世代の方たちを、労働力不足の現場へどう活かしていくかを検討していきたい。

今定例会に、次のとおり、意見書、陳情が提出され、審査されました。

意見書

【意見書第2号】
道路整備のための財源確保
に関する意見書

豊田市においては、高規格幹線道路から生活道路に至るまでの道路整備を推進することが不可欠。広範な市域に点在する旧市町村を結ぶ道路整備の遅れが緊急課題だ。道路特定財源の見直しにあたっては、納税者の理解を得ながら、地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、道路整備を遅らせることがないよう、以下の事項について格段の配慮を強く要望する。

- 1 着実な道路整備に向け、道路特定財源の制度の趣旨を十分踏まえつつ、安定的な財源を確保すること。
- 2 道路特定財源以上に一般財源等を充当し道路整備を推進している地方の実情を勘案のうえ、特に地方の道路財源を充実・強化すること。

上記の意見書を全会一致で議決し、国等、関係機関へ提出しました。

陳情

【陳情第9号】
教育基本法の改正ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情書

【陳情第10号】
第8次定数改善計画の実施と学級規模縮小を求める陳情書

【陳情第11号】
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情第12号】
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情第13号】
市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書

上記の5陳情が提出され、所管の委員会に送付されました。



質問順に掲載しています

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

松井正衛

自民クラブ

豊田市の森林に関する諸課題について
豊田市が抱える医療課題について

豊田市の
医師不足について

質問

全国的に地方での医師不足が深刻だ。大半の医師が大都市部に集中していることが原因との指摘があるが、市において医師などの確保に向けて具体的な方策はあるのか。

答弁

市としては、独自に豊田版の「ドクターバンク」事業を推進していきたいと考えている。今後、医療対策懇話会において意見を求め、豊田加茂医師会の協力を得ながら早期に事業を立ち上げたい。ただし、医師の確保は市のみで実現できるものではなく、県市懇談会においては知事に対し、また全国市長会を介しては国に対し、働きかけを行っている。



杉浦昇

自民クラブ

防災・防犯について
公共下水道について
快適なまちづくりについて

減災を目指した、
緊急時の情報伝達

質問

緊急時の被害を少しでも食い止めるには、情報の共有と集約が最も大切と思われる。いかに多くの情報を集約し市民に伝達するのか。また減災の考え方と進め方はどのようなか。

答弁

現在進めている防災行政無線の整備が、緊急時に市民へ情報提供する手段として最も有効と考える。また、サイレンや広報車、ホームページ、自治区

への一斉FAX、ケーブルテレビ、コミュニティFMなど、あらゆる手段を使い、市民への情報提供体制を整備していく。現在、地震対策アクションプランを策定しているが、この計画の推進こそが減災に繋がると考えている。

光岡保之

自民クラブ

新たな公共のかたち

全市横断の
わくわく事業について

質問

昨年度から地域自治区における「わくわく事業」が創設された。地域を限定して行うスタイルばかりではなく、全市横断的な、テーマに特化したわくわく事業が必要ではないか。

答弁

現在「わくわく事業」は地域限定スタイルで実施しているが、今後はエリアを限定しない市民活動団体への支援が必要になってくると考えられる。エリアを限定せず、横断的でテーマに特化した助成制度については、市民や市民活動団体の意見を十分聞きながら、これから検討していく。事業の仕組みとしては、全市横断のわくわく事業を取り入れていきたい。

大村義則

諸派

豊田に住みたくなる住宅政策を

さらなる公共住宅の建設を

質問

市営住宅に入居を希望しても、なかなか叶わないのは、戸数そのものが少ないと言わざるを得ない。新たな建設計画はどのようなになっているのか。

答弁

平成18年度から20年度で仲道住宅20戸、市木住宅125戸を建替え中であり、21年度からは樹木住宅、美和住宅の建替え計画がある。公営住宅全体の需給バランスを見て建設を考える必要があるが、当面は県営住宅・市営

住宅ともに、既存住宅の居住水準の改善を優先している。一定の居住水準になるまでは、建替えの際に戸数増加を図っていきたい。

山内健二

市民フォーラム

介護現場の人材確保に向けて
公共交通の利便性向上に向けて

豊田市公共交通の
今後について

質問

市民から要望の多い、豊田大橋を渡るバス路線の開設はいつになるのか。また、将来導入の可能性がある新交通システムの概要や移動の仕組みについてお聞きする。

答弁

昨年度実施した社会実験バスの成果をふまえ、豊田市駅と渋谷町、東山町を結ぶ路線バスを11月1日から運行するよう名鉄バス株式会社に依頼している。移動の仕組みは、都市交通ビジョン懇談会にて長期的な視点での豊田市の都心のあり方、交通のあり方について、年内を目標に議論をしている。今後は、交通モデル都市の実現のために必要な社会実験や導入計画を検討していく。

日恵野雅俊

自民クラブ

障害者自立支援法への対応
医療制度改革について

老人保健医療について

質問

平成20年4月から、新たな高齢者医療制度が創設される。現在の老人保健制度における老人医療費について、過去3年間の実績と今後の見通しは、

答弁

平成15年度は約154億2,500万円、平成16年度は約159億2,300万円。平成17年度は合併による増加分も含め、約203億7,900万円と伸びている。今後は、高齢者人口の増加と医療技術の高度化により、来年以降も毎年3億



一般質問

新政クラブ：新政クラブ 諸派：会派所属無

円程度の増加が見込まれる。しかし、平成20年4月からは老人保健制度自体がなくなり、新たに後期高齢者医療制度へ移行することになる。

湯浅利衛

市民フォーラム

合併に伴う公共施設の活用策と整備方針について
循環型社会の構築に向けた環境施策の推進

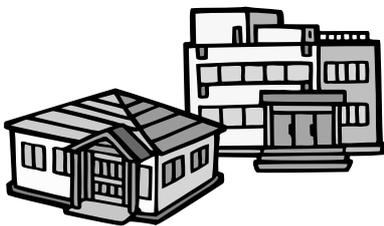
見直すべき
公共施設の活用策

質問

合併により、見直しが必要な公共施設が231施設あるとの調査結果が出ている。見直すべき公共施設の活用策について、市の考えは、

答弁

施設の見直しについては、各支所庁舎など余剰スペースがある施設、特定の自治区等が限定して使用している施設など5つに区分し、基本的な活用方針を作業部会で検討している。具体的な活用案の検討が必要な施設が多く、施設の統廃合や観光施設との融合など、それぞれの施設の実態や全市的な見地から、より有効な活用方法を引き続き検討していく。



坂部武臣

自民クラブ

間伐促進とバイオマスエネルギーの取組について
健やかな心をはぐむ道徳教育と宗教心について

道徳教育における
宗教心の見解は

質問

道徳教育の中で、神や仏などの宗教心について、どのような理解指導を行っているのか。健やかな心を育む

道徳教育について、教育長の思いと所信をお聞きしたい。

答弁

日々の生活の中で他を尊重し、共に高め合う人として育つことを目指している。そのために、魅力的で多様な教材の開発、保護者や地域住民の参加による開かれた道徳教育の充実、未来に向けて自ら課題に取り組む姿勢づくり、共に考える道徳教育の推進を中心に、各学校が一人ひとりの子どもの心に響く指導を進めていけるよう支援したい。

田中建三

市民フォーラム

豊田市の渋滞対策
豊田市の防災対策

災害時における市民の安否確認について

質問

大規模災害時には市民の安否確認が最優先されると考えるが、情報の収集はどのような方法をとるのか。市の対策を問う。

答弁

大規模災害時の安否確認は、家族、地域にて確認することが基本。しかし、自治区などから安否確認ができない市民の情報は、電話、FAX、防災無線などにより対策本部に集約される。また昨年度、避難者情報支援システムを庁内開発により構築し、地区防災拠点である交流館と本庁を庁内LANで結び、情報の共有・一元管理が可能となった。

三宅正次

自民クラブ

都市内分権・地域自治区運営について
基幹交通社会実験計画について

「わくわく事業」の今後について

質問

地域活動支援制度「わくわく事業」の補助金額の上限は500万円。予算規模を拡大し、事業推進を図るべきと

考えるが、市の考えは、

答弁

わくわく事業の予算規模拡大は、当面、考えていない。今後、平成19年度までの3か年の実績を見て、総合的に判断していく。検証の結果によっては、継続的な取組を支援したいと考えている。地域固有事業として取組を定着させ、地域会議の提言を受けながら、市民参加による地域づくりとして位置づけていきたい。

太田博康

自民クラブ

子どもたちの居場所づくりについて

放課後児童健全育成事業について

質問

放課後児童健全育成事業の現状と対策、今後の課題についての考えは、また、開設時間拡張や、受入れ学年拡大の可能性についてはどうか。

答弁

参加児童の増加により、一部の放課後児童クラブでは夏休みの期間中、定員を超えた。原則小学1年生から3年生の受入れは、待機なしで行う方針だ。開設時間の拡張は、土曜日の開設や、現在6時半までの受入れを7時までに延長するなど、意識調査をふまえた上で検討したい。学年の拡大については、4年生以上の児童は施設整備が十分でないため、当面、受け入れない方針である。





質問順に掲載しています

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

庄司 章 市民フォーラム

土地利用について
地域会議について

今後の宅地開発
について

質 問

平成17年度の包括外部監査において、様々な指摘を受けた土地がたくさんある。これらの土地の利用に対する考えや、本市における宅地開発の進め方を確認したい。

答 弁

市が保有している土地については、定住対策の一環としての利用を考えている。また、全体の宅地供給策に関しては、現在策定中の「住宅マスタープラン」の中で検討していく。当面の短期の定住策としては、市が保有する未利用地を、法手続きが済んだ土地から順次処分し、宅地供給を行うための準備を現在進めている。



岡田 耕一 新政クラブ

プラスチック製容器包装類のごみ回収について
第2回とよた市民野外劇を終えて
豊田市における積極的な
収入確保の考え方

インターネット
オークションの活用を

質 問

本市の積極的な財源確保として、インターネットオークションを利用した売却に大きなメリットを感じている。公用車をはじめ公有財産の売却について、市の見解はどのようなものか。

答 弁

公用車の場合、現状は入札参加資格の申請に「物品を買い受ける」という登録区分がある。まずは買い受け希望登録のある業者を対象に、売却を行うべきである。ご指摘の方法は、IT社会にマッチしたシステムではあるが、参加手数料や売却物件の閲覧方法などに研究課題も残されている。公有財産の売却は、他団体の動向をふまえて判断していきたい。

佐藤 恵子 公明党

子どもたちの幸せ、豊かな
子育てのために
きめ細かな市民サービスについて

豊かな子育てを
目指して

質 問

「おめでとう訪問事業」がスタートして5か月経つが、事業の目的や進捗よく状況をお聞きしたい。また、今後の予定を前倒して取り組む予定はあるか。

答 弁

今年度から、生後1～3か月の乳児を持つ家庭に対し、母子保健推進員が家庭訪問する事業を開始した。これは、育児不安の軽減や地域での子育て互助機能の再構築を図るもので、毎月25人から40人を訪問している。毎年度対象地区を拡大し、平成21年度には全地区の第1子について実施する予定。体制が早く整えば、前倒しも可能だと考えている。



梅村 進 自民クラブ

豊田市教育センターの活動と
今後の取組
スポーツクラブの現状と今後の支援策
中山間地域の生活交通について

豊田市教育センターの
目的について

質 問

「人づくり」の中核を担うのは学校教育だと考える。教員をとりまく環境が変化中、今年度4月に設立された「豊田市教育センター」の概要や目的をお聞きしたい。

答 弁

教育委員会では教育行政計画に基づき、教育課題に適切な助言を行う「指導情報提供センター」の設立を検討していた。一方で、コンピュータを使った教育活動の必要性も高まってきた。そこで、教育研究所の「研修事業」に「指導情報提供事業」とコンピュータに関わる「ICT推進事業」を加えて組織を見直し、3事業を行う教育センターを設立した。

太田 之朗 市民フォーラム

スポーツ振興策について
総合計画の課題について
親切でわかりやすい行政について

コールセンター事業
について

質 問

横浜市で導入されたコールセンター事業は、市民サービスの向上や業務の効率化など、メリットが大きいと考える。本市としての評価や、導入の可能性について問う。

答 弁

ワンストップ回答による時間の短縮、職員の電話対応業務の軽減、休日夜間におけるサービスの提供など、効果は大きいと考える。その一方で、センターが回答しきれない場合や、想定問答の整備・維持にかかるコスト、センター職員



一般質問

新政クラブ：新政クラブ 諸派：会派所属無

の質の確保など、デメリットも考えられる。先行他都市を参考に、費用対効果などを検証し研究していきたい。

園田 昌康

自民クラブ

自転車交通の施策について
農産物の残留農薬基準制度について

残留農薬基準の
新制度について

質 問

食品の残留農薬について、本年5月から新制度が施行された。従来の規制から変更した点を確認したい。また、生産者への指導説明はどのように行うのか。

答 弁

本制度の導入により、残留基準が設定されていない農薬についても、0.01ppm以上の場合には食品の販売などが禁止されるようになった。生産者への指導は、県豊田加茂農林水産事務所やJAあいち豊田、市農政課が連携しながら行っていく。すでに生産者などの会合や農事組合長会議で周知を図り、JAあいち豊田発行の機関紙でも注意を呼びかけている。

外山 雅崇

新政クラブ

公営住宅法施行令の
一部改正について
指定管理者制度の見直しはあるか

公営住宅の新制度と
運用方針及び入居基準

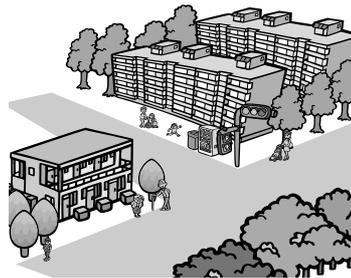
質 問

公営住宅法施行令の一部改正に伴い、入居収入基準の超過者に対して家賃値上げを実施するのか。また、応募者に資産の自主申告を義務づけるガイドラインへの見解と対応は。

答 弁

今回の改正は、収入超過者の家賃を値上げして自主的な退去を促すものであり、住宅に困窮する低所得者に対し、住宅確保を図るものだと考える。現

在本市では、収入状況の調査は行っているが、保有資産については実施が困難な状況である。現段階では、ガイドラインに示された保有資産の調査について、来年度からの実施は考えていない。



神谷 和利

自民クラブ

都市と農山村の交流
豊田おいでんまつり
中部国際空港へのアクセス

豊田おいでんまつり
の見直し

質 問

おいでんまつりの大規模化により、モラルの低下など多くの課題が生まれてきた。まつりを見直しのスケールと時期について、市の方針を問う。

答 弁

豊田おいでんまつり懇談会では、当初、平成20年開催の第40回をめぐりに検討スケジュールを組んでいた。だが、今回出た問題に早急に対処するため、本年9月に課題の洗い出しや対応策の検討に入り、市民アンケートによる意識調査の後、12月には中間報告を予定している。来年はこの報告に沿って試行した結果の評価を、同年9月に提言書として提出される予定である。

近藤 光良

自民クラブ

公設のプール事故について
行政経営戦略について

分かりやすい行政評価を

質 問

行政経営の市民参加に向けて、分かりやすい評価方法とその結果を市

民に公開し、理解を得ることが重要だと考える。事務事業評価に関して、市の見解は。

答 弁

昨年度の評価では、今後見直しが必要な事業を抽出するなど一定の成果が得られたが、その内容が市民に分かりにくいという結果にもつながった。そこで第7次総合計画は、政策・施策の体系に合わせた評価の導入を検討し、さらに目標値や評価結果を可能な限り数値で示すことを考えている。市民に分かりやすく公表することで理解を促したい。

山田 和之

自民クラブ

スポーツ施設の整備について
鈴木正三の顕彰について

(仮称)豊田市総合体育館
について

質 問

市民の健康増進と生涯スポーツの拠点となる、(仮称)豊田市総合体育館の整備概要と建設工事の進捗状況は。また、完成後はどんなスポーツを行うことができるのか。

答 弁

競技場はバスケットボール4面を同時に利用でき、本市の生涯スポーツ振興の中核施設として世界レベルの大会まで開催が可能。工事の進捗率は本年7月末現在77%で、当初計画のとおり順調である。競技場では主な球技や器械体操、武道など様々な屋内スポーツを利用でき、他にもトレーニングルームやダンススタジオなどの施設を備えている。





議員合同研修会を開催



熱心に講義を行う浅野史郎氏

8月9日、小牧市の「まなび創造館」で、尾張・三河地域八市での議員合同研修会が行われました。講師の浅野史郎氏は、前宮城県知事であり、現在は慶應義塾大学の教授を務める方です。地方分権を見すえた情報公開の推進や議会のあり方など、12年間にわたる知事経験を踏まえた講義内容でした。改めて議会の重要性を認識する機会となりました。

第2回 とよた市民野外劇に参加

8月27日、豊田スタジアムで第2回とよた市民野外劇「衣の里夢大地」が開催されました。今回の公演は、市町村合併の記念として3年ぶりに実現



市民野外劇の一場面

したものです。全て市民の手づくりによるイベントで、出演者は約4,500人、スタッフ約450人、入場者数約12,800人という、全国でも有数の規模を誇る野外劇となりました。本市議会からも25名の議員が参加し、市民と一体となって劇を盛り上げました。

交通安全の啓発活動を実施

9月1日の本会議終了後、市議会議員と市職員が交通安全啓発活動を行いました。これは秋の交通安全市民運動の一環として行ったもので、国道153号線を通行中のドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけました。



活動前に豊田警察署長から市内の交通事故状況を聞く様子



市役所南庁舎前での活動の様子

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

[とよた市議会だより]が豊田市のホームページでご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.toyota.aichi.jp>

**6月定例会からインターネット録画放映が本格スタートしました。
上記アドレスからご覧ください。**

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

	生中継・録画放送	ラジオ・ラプィート
放送チャンネル	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	FMとよた 78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月1日(金)開会予定です。

この冊子は、折り込み「9月市議会定例会 秋号」です。
このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。